

課題名	当院における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の第 5 波と第 6 波の臨床像の違い
承認番号	2022-34 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 呼吸器内科 氏名 河崎 勉
研究期間	(西暦) 2022 年 12 月 ~ (西暦) 2023 年 7 月
研究の意義・目的	新型コロナウイルスは、変異を繰り返し幾つかの流行の波をもたらしてきました。世界規模の流行にもかかわらず、流行変異株による臨床像の違いについては不明な点が多いのが実状です。このため今回、デルタ株が中心となり流行した第 5 波とオミクロン株が中心となった第 6 波において、当院呼吸器内科での実臨床における臨床像の違いを比較検討し、今後の COVID-19 における診療レベルの向上を図ります。
研究の方法 (対象期間含む)	当院呼吸器内科が COVID-19 で診療した入院患者のうち、2021 年 7 月 1 日から 9 月 30 日までの間に入院した約 140 人 (第 5 波群) と 2022 年 1 月 1 日から 3 月 31 日までに入院した約 90 人 (第 6 波群) を対象とします。研究の方法は、対象症例の診療録から患者背景 (臨床情報, 検査所見など) を確認し、統計学的に比較検討をします。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	統計学的比較検討をするために、診療録から患者背景 (臨床情報, 検査所見など) を確認します。カルテ上の既存の情報のみを用います。 電子カルテのファイルサーバー内に研究用の番号を付けた対応表を作成し、個人情報保護に万全を期します。研究用のデータは研究用の番号で区別し、個人を特定できる情報とは切り離して使用します。
利用又は提供する 試料・情報の項目	臨床情報: 年齢、性別、入院時酸素化スケール、入院後酸素化増悪、BMI、喫煙指数、入院時 CT スコア、重症度、隔離期間、発症から入院までの期間、ワクチン接種状況、下り搬送の有無、隔離解除時転帰、治療薬、合併症など 検査所見: 白血球数や肝機能、腎機能、炎症反応など
試料・情報を 利用する者の範囲	研究責任者 (横浜市立みなと赤十字病院 呼吸器内科 河崎 勉) および 研究分担者 (横浜市立みなと赤十字病院 呼吸器内科 北川 翔大)
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 呼吸器内科 河崎 勉
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 呼吸器内科 氏名 河崎 勉 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101